第1286号

2012年＜平成24年＞
3月24日㊏

刈谷ホームニュース

週刊 土曜日発行〈無料〉

発行所 株式会社中日三河折込 刈谷ホームニュース編集室 〒446-0057 安城市三河安城東町1丁目20番地3
TEL 0566(27)1800㈹ FAX 0566(27)1777 E-mail:kariya@homenews.co.jp
31,300部

新聞折込広告のことなら
(株)中日三河折込
http://www.c-mkworikomi.co.jp
全域配布サービス実施中
中日新聞未購読世帯にもポスティングでお届け(愛知県内は毎月第2・4金曜日)
安城市三河安城東町1-20-3 TEL.0566-75-9732

キラリ はやぶさ金属模型

技術生かし若手社員が製作

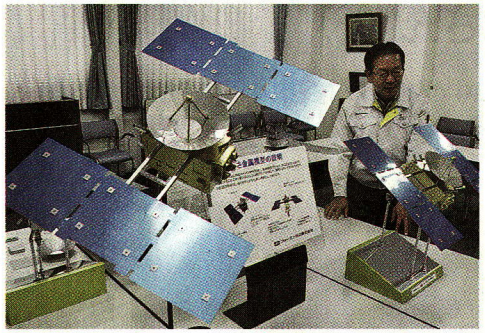
野田町のフォーミックス

板金製造などを手掛けるフォーミックス＝野田町＝が小惑星探査機「はやぶさ」の金属模型を製作し、30日㊎から総合文化センターで開催される「はやぶさ」帰還カプセル特別公開に合わせて展示する。4月3日㊋まで。

模型は縦42㌢、幅60㌢、高さ30㌢で実物の10分の1サイズ。昨年の刈谷産業まつりに出品した際、市の関係者の目に留まり、新たに製作して一般に公開することになった。

同社の高度な工作機械と金属加工の技術を生かし、若手技能者らが昨年12月から2カ月間かけて設計から手掛けた。厚さ1㍉のステンレス板やパイプ材を切断し、レーザー光線で溶接。太陽電池パネルやイオンエンジン、パラボラ形アンテナも再現されている。

10分の1スケールの「はやぶさ」金属模型



見物客に作業工程が分かりやすいようにと、模型4点を塗装前後に分けて展示。使用した部品も並べる。工作機械技術室参事の川村二郎さんは「やったことのない挑戦でしたが、『はやぶさ』のようにあきらめずに取り組んだ。見栄えの美しさをぜひ見ていただきたい」と話している。

はやぶさ カプセル公開

小惑星探査機

30日から総合文化センターで

「小惑星探査機『はやぶさ』帰還カプセル特別公開in刈谷2012」(刈谷市、市教委主催)が30日㊎～4月3日㊋まで、総合文化センターで開催される。度重なる困難を乗り越え、小惑星「イトカワ」から表面サンプルを採取して地球に帰還した「はやぶさ」のカプセルを展示する。

カプセル観覧は小ホールで午前9時～午後8時まで(最終日は4時まで)。8時50分以降に整理券を随時配布し、15分間隔で観覧できる。5時以降の観覧は自由。

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の協力で、カプセルを構成する前面ヒートシールド、背面ヒートシールド、インスツルメントモジュール、搭載電子機器部、パラシュートの5点を展示。燃え残った断熱テープの跡なども見られるという。

カプセル公開の期間中、刈谷工業高校生による「はやぶさ」の模型や天体写真などを展示し、地下1階の各部屋で3D宇宙の旅やJAXA制作のはやぶさプロジェクト映像の上映もある。

ものづくり・体験コーナーでは「はやぶさ」の缶バッジやキーホルダー作りなどが行われる。また、中央児童館のプラネタリウムでも、帰還バージョン全天周映像を公開中。

㊐中央児童館☎24・0311。

はやぶさのゲーム機を製作したおもちゃ病院のスタッフ

はやぶさ 発進せよ！

おもちゃ病院がゲーム機を製作

NPO法人刈谷おもちゃ病院のスタッフ6人が「はやぶさ」をテーマにしたゲーム機を製作。その名も「はやぶさリターンシミュレーター」。小惑星「イトカワ」へのタッチダウンを体験できる。

十字レバーと下降ボタンで「はやぶさ」を移動させ、時間内に「イトカワ」の微粒子採取を目指すゲーム。デンソーOB中心のスタッフらがモノづくりの現場で培った技術を結集し、音声案内やモニター映像、効果音を駆使して臨場感たっぷりに作り上げた。

LEDが状況に応じて点滅するなど細部にもこだわり、スタッフらも満足の表情を浮かべる。「リアリティーを追求しました。ゲームを通じて、はやぶさの偉業を感じ取ってほしい」と石川良雄院長＝半城土町。

市の「はやぶさ」帰還カプセル特別公開に合わせて、総合文化センター地下リハーサル室に設置。誰でも無料で遊ぶことができる。

チアダンス全国大会へ

SPGの小中学生11人

刈谷と大府活動するSPGンスプロジェクト抜クラス「HT☆BEAN子小中学生11㊏～26日㊊まの幕張メッホールで開催国大会「USジャパン・チ ング&ダンピオンシップナルズ」に る。

選抜選手の300人の生徒のオーディショ れた小学5年年生。刈谷のャプテンの竹ん(雁が音中築祐衣さん(

テニス

刈谷クラブの高畑君ら

千葉県白㊎、31日㊏にる第11回全国フトテニス大ソフトテニスら3ペアが出

出場するの真君(朝日小羽下友哉君(年)、塚本蒼江小4年)君(日高小4健斗君(双葉・比楽有君(